

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 5 月 17 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 16 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校(日本語名) University at Buffalo(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/English
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☒ その他: 州立
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月～12 月 2 学期: 1 月～5 月 3 学期: 4 学期:
学生数	約 32000 人
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 当時約 160 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため
宿舍費	約 8000	円	
食費		円	
図書費	0	円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	約月 50	円	
現地交通費	0	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	円	
旅費(留学中)	約 2500	円	ニューヨークとワシントン DC
被服費	約 500	円	
医療費	約 2000	円	ER でのワクチン
保険費	約 1000	円	形態: 一学期 20 万円程度
渡航旅費	約 3000	円	JAL の往復
ビザ申請費	約 150	円	
雑費	1000	円	生活用品等
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	3,000,000 (=円)	円	
総計(A+B) ※円	約 3,000,000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：バッファロー国際ナイアガラ空港 経由地：ダラス国際

復路 出発地：バッファロー国際 目的地：羽田 経由地：J.F.K

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：JAL 料金：約 20 万

復路 航空会社：JAL 料金：約 20 万 ∴合計：約 40 万

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：JAL オンライン)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：エリコット) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

UB(大学の略称)のホームページ上で

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

エリコットの Red Jacket に滞在していました。現地に住む日本人の方はキャンパス外の大学提携のアパートに住んでいました。私は 4 人が壁もなく同じ空間に住むという状況に疲労もありましたが新鮮さもありました。しかしもう一年生活するというなら学外のアパートにしたいと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Wellnow 等)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のメールより、注意喚起をうけていた。サウス側にある中央街は NYC 並の犯罪率らしいのでなるべく近づかなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

アメスマ

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

アメリカの銀行を現地で開け、親から送金してもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本のお菓子や薬、自分のよく使う身近なもの、あとは親から味噌汁などを航空輸送してもらいました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカードでオンライン上で支払い。期限は入学し 2 週間程度で期限がきました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)		
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限			
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 一般学生より申し込みの開始時期が遅いため人気なものは埋まっている。			
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Hip hop and Social issues		ヒップホップと社会問題	
科目設置学部・研究科	AAS		
履修期間	秋半期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Mope Ogunbowale		
授業内容	hip hop の文化の歴史とアフリカ系アメリカ人のルーツやアフリカ系の方が世界で受けている差別や彼らの生活をレクチャー。		
試験・課題等	毎週のレポートと紙面上での定期試験 2 回		
感想を自由記入	Hip hop を通してアフリカ系の方のルーツをたどりつつアフリカ系の方の宗教や文化の多様性、Hip hop の歴史や、種類また、アフリカ人の方の課題などを学ぶ講義でした。アメリカの Hip hop というよりは世界の Hip Hop というイメージでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Social Justice		社会正義
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	秋半期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Danielle Johnson	
授業内容	多様性の課題やアメリカの人種差別の現状の調査など	
試験・課題等	オンライン上でのグループ発表とレポート	
感想を自由記入	オンライン上ながら丁寧で詳細も詳しく、教授も親切的な講義でした。コロナ禍のあとのアメリカでの課題やアフリカ系アメリカ人やアジア人への差別やヘイトクライムの問題性などを講義していました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
American Business History		アメリカのビジネスの歴史
科目設置学部・研究科	HIS	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Cari Casteel	
授業内容	ゴールドラッシュ、アメリカの貿易、イギリスからの独立後のアメリカの商業	
試験・課題等	レポートを毎週と定期レポートが 3 回ほど	
感想を自由記入	私の考えとは少し齟齬があったがそれでも、アメリカがどのように世界を席卷していくのかがビジネスとともに学べた。アメリカのビジネスについて少しだけ前提知識の必要な講義だったと考えます。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Gender and Women studies		LGBTQ と女性の権利
科目設置学部・研究科	GGS	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Joyce Jekayinoluwa	
授業内容	女性と少数派の方の立場、権利向上	
試験・課題等	毎週のレポートと、プレゼンテーションが 2 回、期末レポートあり	
感想を自由記入	アメリカでの進んだ女性の立場向上や日本との比較衡量などが行えました。この講義ばかりは日本の女性との不平等性など悪い面が見えてきてしまったため、少し寂しい気持ちになってしまいました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to African American Studies		アフリカ系アメリカ人の文化
科目設置学部・研究科	AAS	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	小教室での講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Rinaldo Walcott	
授業内容	MarcomX やキング牧師の影響、アフリカ系アメリカ人の方がどのような差別を受けたのか	
試験・課題等	定期レポートと、プレゼンテーション	
感想を自由記入	秋学期の中では一番楽しかったです。アメリカの負の歴史とともに人類の再生と希望が学べたと思います。特に印象的なのはフレデリック・ダグラスで彼が如何にして一としての尊厳を獲得したかは一つの学びとして大きかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to American legal system		アメリカ法 入門
科目設置学部・研究科	LAW	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	大教室での講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Thomas Hare	
授業内容	アメリカ法の成り立ち、基本的構造と働き	
試験・課題等	複数回の定期試験、毎週のレポート	
感想を自由記入	春学期で一番頑張った講義でした。アメリカ法と日本の法律の違いや聖書との密接な関わりなど学んでいて非常に興味深かったです。最初の方は全く理解出来ませんでした。が、学ぶことに法律の奥深さと内陸法の面白さに気づきました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Music and Money		音楽と経済
科目設置学部・研究科	MUS	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	大教室での講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Derek. R. Strykowski	
授業内容	レーベルとアーティストが如何に経済を回してきたのかまたその過程でどのような機器が発明されたのか	
試験・課題等	定期レポートと、定期試験	
感想を自由記入	単純に最も身近な内容の講義でした。クラシックから、Spotify まで多岐にわたる範囲でどのようにアーティストたちが生計を立てて来たかが興味深かったです。また教授の生演奏も感動しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to American Politics		アメリカ政治学 入門
科目設置学部・研究科	PSC	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	大教室での講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Antonie Yoshinaka	
授業内容	アメリカの選挙や権力分立制など	
試験・課題等	定期試験のみ	
感想を自由記入	一番大変でした。範囲も広大な上に、内容も複雑で。しかしながら、日本との共通点も多く、公民の授業を新しい観点で学んでいる感覚でした。政治の奥深さや課題はこの国も共通しているのだと実感しました。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビや明治大学のキャリア支援センター等。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	留学について考え始める
	8 月 ～ 9 月	留学の資料集め、留学相談など
	10 月 ～ 12 月	Toeic の勉強
留学開始年	1 月 ～ 3 月	航空券購入、Toeic の勉強や語学学習
	4 月 ～ 7 月	ビザ習得、スーツケースなどの購入、留学の
	8 月 ～ 9 月	渡米完了、学費支払いや、アーティストによるイベント
	10 月 ～ 12 月	中間試験、感謝祭の休み、期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	冬休み、イースター休み、中間試験
	4 月 ～ 7 月	期末試験、留学終了
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

今現在トランプ大統領による MAGA の影響により、留学を行うことが困難になっていると思います。VISA の新規受入も中止してしまいました。アメリカに現地で生活している日本人の方はグリーンカードやアメリカのパスポートを持参していないと収監される可能性もあるといえます。もし、アメリカに行けるとなっても油断せず、自分のことは自分しか守れないと思いながら行動してください。また、私はアメリカ生活中の怪我によりストレスが溜まってしまい、不安症等が発症してしまいました。明治大学の方や東京海上さん等が心のカウンセリングを行っておりますので、家族以外にもプロの方に、相談してみることは一つの手だと思います。

アメリカは大麻も非常に手に入れやすい国だとも思います。私は行いませんでしたが、キャンパス内でも(禁止されているにも関わらず)喫煙している方はよく見かけました。自分でよく考えて、リスクを考慮する必要があると思います。私の隣人の方は吸いすぎで目が斜視になっておりました。

しかしながらアメリカ人の方は日本人よりも優しい性格を有しているなとも思いました。彼らは何事も馬鹿にしつつ何事も尊敬しているというダブルスタンダード的な性格をしていました。また彼らは意外と日本の文化が好きですので、日本で合わない方は、アメリカの風がアットしているのではないのでしょうか。私自身も日本で腫れ物でしたが、アメリカでは輪に入ることができ、自分を隠す必要はありませんでした。また晴れの時の気候はカラッとしており気持ちがいいものでした。

もちろん向こうの生活は大変でしたが人生の 1 ページに深く刻まれる体験になったと感じます。何事にもポジティブで挑戦してみるということの大切さを学ぶことができたと思います。皆さんの留学を応援しています。私は ER に行ったり、カウンセリングなども活用したため、もし、みなさんが助けを求めているのならば喜んで手伝わさせていただきます。